

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 5 年度 [港湾 局]

事業名
13 款 1 項 4 目 大さん橋ふ頭ビル管理事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	17,363						17,363
執行見込額	237,323					219,000	18,323
今回補正額	219,960					219,000	960

【事業概要】

旅客施設及び港湾関係機関のオフィスビルとして利用されている「大さん橋ふ頭ビル」の良好な維持管理を行います。

【補正概要】

大さん橋ふ頭ビルの空調設備は、経年劣化と塩害による故障が頻発することから、既に3、4階の更新工事に着手しているところですが、令和5年10月以降、1階の旅客船待合ロビーや2階店社の事務室、5階本市事務室の空調機に相次いで故障が発生しています。
当初は、5年度より3か年計画で修繕を進めていましたが、このまま放置すると、待合ロビーや事務室の室温保持ができなくなる恐れがあります。特に事務室の室温保持は、労働安全衛生法、事務所衛生基準規則等に事業者の責務として規定されており、その責務を果たすため、工事費を補正し、早急に工事を行います。

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①消耗品費	10	0	10	
②委託費	17,353	0	17,353	清掃、建物管理、機械警備、各種点検等
③空調設備更新工事	0	219,960	219,960	
合 計	17,363	219,960	237,323	

【事業スケジュール】

5 年度	6 年度					
	2～3月	4～5月	6月	7月～8月	9月～11月	12～1月
設計、関係者調整	契約手続	現場調査、機器選 定・承認	機器製作、準備工事	現場工事、 試験運転・調整	検査・引き渡し (履行完了)	

*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 5 年度 [港 湾 局]

事 業 名
13 款 1 項 5 目
土木関係修繕費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	324,496	61,000		2,390		102,000	159,106
執行見込額	396,496	85,000		2,390		150,000	159,106
今回補正額	72,000	24,000	0	0	0	48,000	0

【事業概要】

岸壁・護岸・道路・橋梁・荷捌き地・緑地等の点検調査により、劣化や損傷を把握した施設の補修及び修繕を行い、荷役作業や市民利用の安全確保と施設の機能を維持します。

【補正概要】

国庫補助事業の認証増に伴い、金沢木材ふ頭 1 号物揚場の補修工事を実施します。

【補助対象事業費】

金沢木材ふ頭 1 号物揚場 72,000千円(国費1/3 : 24,000千円)

【金沢木材ふ頭 1 号物揚場】

当該施設は整備完了から37年が経過しており、栈橋上部工の下面部の全体において、欠損、剥落、ひび割れ、鉄筋露出が多数みられます。点検結果において、速やかに補修しなければなりません。物揚場として、120隻/年程度の利用があり、早急な対応が必要であるため、上部工補修工事を実施し、施設の機能回復を図ります。

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
港湾施設維持補修業務	149,496		149,496	
港湾施設調査点検等業務	12,000		12,000	
港湾メンテナンス等事業	163,000	72,000	235,000	国庫補助事業の認証増に伴う事業実施
合 計	324,496	72,000	396,496	

【事業スケジュール】

	令和 5 年度		令和 6 年度											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
物揚場補修 (①実施設計)		●												
物揚場補修 (②上部工補修工事)		●	積算・発注手続				●				施工			●

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 5 年 度 [港 湾 局]

事 業 名
13 款 2 項 1 目
カーボンニュートラルポート形成事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	190,000	90,000				90,000	10,000
執行見込額	313,000	131,000				172,000	10,000
今回補正額	123,000	41,000	0	0	0	82,000	0

【事業概要】

【概要】

我が国は2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2021年4月には、「2030年度に、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す」ことを表明しています。また、政府が取りまとめた「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」において我が国の輸出入の99.6%を取り扱う物流拠点であり、かつCO2排出量の約6割を占める産業の多くが立地する産業拠点である港湾において、「カーボンニュートラルポート（CNP）」を形成し、2050年の港湾におけるカーボンニュートラル実現を目指す」と位置づけられています。

【臨港パーク先端部整備】

臨港パーク先端部では、緩やかな曲線に沿った親水護岸、シンボリックな展望ゾーン、水上交通の拠点となる栈橋、CO2を吸収する「ブルーカーボン」としての機能も担う藻場・浅場、人工海浜等の整備を行います。

【補正概要】

令和5年度認証額に合わせて補正します。

【臨港パーク先端部整備】

補助対象事業費：123,000千円(国費1/3：41,000千円)（護岸築造工）

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
系統電源整備(本牧ふ頭：A4陸電)	190,000	0	190,000	
臨港パーク先端部整備		123,000	123,000	護岸築造工
合 計	190,000	123,000	313,000	

【事業スケジュール】

	R 6 年 度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
臨港パーク先端部整備 (護岸築造工)						整 備						

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 5 年度 [港湾 局]

事 業 名
13 款 2 項 1 目 港湾施設における受電施設更新費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	0					0	0
執行見込額	47,000					47,000	0
今回補正額	47,000	0	0	0	0	47,000	0

【事業概要】

当局管理の受電施設のうち、設置から30年以上経過したものについて、順次更新を行います。

【補正概要】

本補正においては、老朽化の激しい次の受電施設について、更新工事を行います。
 工事名称：(仮称) みなとみらい中央ロータリー電気室更新工事
 工事場所：西区みなとみらい1丁目1番地
 設置年月：平成3年3月(32年経過)
 設置目的：みなとみらい中央ロータリーへの電力供給
 施設規模：変圧器盤2面、電灯盤2面
 契約日：令和6年5月(予定)
 工期：令和6年5月から令和7年3月末まで
 工事金額：47,000,000円(見込み)

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
港湾施設における受電施設更新費	0	47,000	47,000	施設老朽化対応による増
合 計	0	47,000	47,000	

【事業スケジュール】

	令和5年度		令和6年度												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
更新工事	● 議決		● 積算・ 発注手続	● 現場確認 契約				● 受電盤製作						● 施工	● 工事完了

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 5 年度 [港湾 局]

事 業 名
13 款 2 項 2 目 港湾整備費負担金

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	1,904,000					1,904,000	0
執行見込額	2,304,000					2,304,000	0
今回補正額	400,000	0	0	0	0	400,000	0

【事業概要】

「国際コンテナ戦略港湾」や完成自動車取扱拠点である横浜港の国際的な競争力の強化に向け、コンテナターミナルや自動車専用船岸壁の改良などを国直轄事業により進めます。その費用の一部を港湾法第52条に基づき港湾管理者である本市が負担します。

【補正概要】

国直轄事業に係る市負担額について、国事業計画と市予算との差額を補正します。

【 事業費の内訳 】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
本牧ふ頭 D5岸壁	1,185,000	0	1,185,000	事業費3,950,000の市負担率3/10
本牧ふ頭 荷さばき地	683,000	400,000	1,083,000	事業費3,249,000の市負担率1/3
南本牧ふ頭 MC4岸壁	36,000	0	36,000	事業費120,000の市負担率3/10
合 計	1,904,000	400,000	2,304,000	

【 事業スケジュール 】

地区	施設	R2実積	R3実積	R4実積	R5見込	R6見込	R7見込
本牧ふ頭	D5岸壁		整備	整備	整備	整備	整備
本牧ふ頭	D5荷さばき地		整備	整備	整備	整備	整備
南本牧ふ頭	MC4岸壁				整備		

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 5 年度 [港 湾 局]

事 業 名
13 款 2 項 3 目 港湾関連用地購入費 (埋立事業会計所管用地)

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	0						0
執行見込額	3,300,000						3,300,000
今回補正額	3,300,000	0	0	0	0	0	3,300,000

【事業概要】

みなとみらい21地区・南本牧地区・新山下町貯木場地区の完成土地を埋立事業会計から一般会計へ所属替を行いました。その購入費については、各会計年度毎に予算の範囲内で分割納入することとされています。

【補正概要】

過年度に埋立事業会計から一般会計へ所属替を行った完成土地の用地購入費について執行します。

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
公有財産購入費	0	3,300,000	3,300,000	
合 計	0	3,300,000	3,300,000	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

所在地	面積(m ²)	総額	3年度以前	4年度	5年度	6年度以降
南本牧地区 2ブロック	116,587.80	7,200,587	0	1,293,272	3,300,000	2,607,315

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 5 年度 [港 湾 局]

事 業 名
1 款 4 項 2 目
新本牧ふ頭整備費負担金

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	5,684,000					5,684,000	0
執行見込額	6,361,855				855	6,361,000	0
今回補正額	677,855	0	0	0	855	677,000	0

【事業概要】

「国際コンテナ戦略港湾」である横浜港の国際的な競争力の強化に向け、新たな高規格コンテナターミナルの整備を国直轄事業により進めます。その費用の一部を港湾法第52条に基づき港湾管理者である本市が負担します。

【補正概要】

国直轄事業に係る市負担額について、国事業計画と市予算との差額を補正します。

【 事業費の内訳 】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
新本牧ふ頭 岸壁	611,000	601,000	1,212,000	事業費4,040,000の市負担率3/10
新本牧ふ頭 護岸（防波）	5,073,000	93,000	5,166,000	事業費11,480,000の市負担率4.5/10
年度清算（還付）		▲ 16,145	▲ 16,145	令和3年度清算による還付
合 計	5,684,000	677,855	6,361,855	

【 事業スケジュール 】

地区	施設	R2実績	R3実績	R4実績	R5見込	R6見込	R7見込
新本牧ふ頭	岸壁						
		整備	整備	整備	整備	整備	整備
	護岸（防波）						
		整備	整備	整備	整備	整備	整備
	荷さばき地						
						整備	整備

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。